

定期作況報告

(令和 4 年 8 月 20 日現在)
酪農試験場天北支場

I 気象概況

7 月下旬から 8 月中旬までの気象は以下のように推移した。

7 月下旬：最高気温が 22.5℃（対平年比、以下同 -1.9℃）と平年より低く、最低気温が 15.9℃（-1.2℃）と平年よりやや低かったため、平均気温は 19.0℃（-1.4℃）と平年よりやや低かった。降水量は 24.0mm（81%）と平年並であった。日照時間は 49.4 時間（89%）と平年並であった。

8 月上旬：最高気温が 23.5℃（+0.5℃）、最低気温が 16.9℃（+0.5℃）とそれぞれ平年よりやや高かったため、平均気温は 20.0℃（+0.5℃）と平年よりやや高かった。降水量は 28.5mm（111%）と平年並であった。日照時間は 38.7 時間（80%）と平年よりやや短かった。

8 月中旬：最高気温は 24.9℃（+2.7℃）と平年より高く、最低気温が 17.2℃（+1.1℃）と平年よりやや高かったため、平均気温は 20.8℃（+1.9℃）と平年より高かった。降水量は 21.0mm（43%）と平年より少なかった。日照時間は 61.4 時間（177%）と平年より長かった。

平均気温の 3 旬の平均は 19.9℃（+0.3℃）と平年並であった。降水量の 3 旬の合計は 73.5mm（71%）と平年よりやや少なかった。日照時間の 3 旬の合計は 149.5 時間（108%）と平年並であった。

気象表

月	旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7 月	下	19.0	20.4	△1.4	22.5	24.4	△1.9	15.9	17.1	△1.2
8 月	上	20.0	19.5	0.5	23.5	23.0	0.5	16.9	16.4	0.5
	中	20.8	18.9	1.9	24.9	22.2	2.7	17.2	16.1	1.1
3 旬平均		19.9	19.6	0.3	23.6	23.2	0.4	16.7	16.6	0.1

月	旬	降水量（mm）			降水日数（日）			日照時間（h）		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7 月	下	24.0	29.8	△5.8	3	3	△0	49.4	55.7	△6.3
8 月	上	28.5	25.8	2.7	2	3	△1	38.7	48.3	△9.6
	中	21.0	48.7	△27.7	2	5	△3	61.4	34.7	26.7
3 旬合計または平均		73.5	104.3	△30.8	7	10	△3	149.5	138.7	10.8

注 1）観測値は浜頓別アメダスのデータ。
2）平年値は前10か年の平均値。
3）△印は対平年値比減を示す。

Ⅱ 作況

1. 採草型 チモシー（2 番草）

作況：2 番草：並（参考値）

事由：本年の 2 番草は、生育日数が平年より 10 日短い 42 日で収穫したため 193kg/10a と低収であった。10 日間分の生育量を勘案すると¹収量はほぼ同等と判断される。2 番草の生育期間における気象条件は平年と特段の差は認められていない。以上のことから 2 番草の作況は並と判断される。ただし推定値を元に判断しているため参考値とする。

2 番草

収穫期(月. 日)			収穫時草丈(cm)			生育日数		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8.2	8.7	△ 5	61	87	△ 26	42	52	△ 10

生草収量(kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
627	1053	△ 426	30.8	23.0	7.8	193	236	△ 43	82

注) 平年値は前 7 カ年のうち、最豊年（平成 30（2018）年）および最凶年（令和 2（2021）年）除いた 5 カ年の平均値である。

¹ 「北海道の採草地における牧草生産の現状と課題」（平成 11 年度指導参考事項）収量及び栄養価・ブロック別成績道北ブロック p.69 2 番草の乾物生産速度 6.5kg/10a/日